

2024年2月9日

各 位

東京都新宿区西新宿五丁目1番1号
株式会社アドウェイズ
代表取締役 山田 翔
(コード番号：2489 東証プライム市場)
問い合わせ先：
上席執行役員 管理担当 田中 庸一
電 話 番 号 03 (6771) 8512

2023年12月期個別業績の前期数値との差異並びに
2023年12月期剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、個別業績予想を開示しておりませんが、2023年12月期（2023年1月1日～2023年12月31日）の個別業績につきまして、前期実績から差異が生じたのでお知らせいたします。

また、本日開催の取締役会において、下記の通り2023年12月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて決議いたしましたので、あわせてお知らせいたします。なお、剰余金の配当におきましては、2024年3月26日開催予定の定時株主総会に付議する予定であります。

記

1. 個別業績の前期実績値との差異

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績値 (A)	8,838	1,248	1,434	1,507	37円71銭
当期実績値 (B)	6,731	▲27	1,298	973	25円27銭
(参考) 増減額 (B-C)	▲2,107	▲1,275	▲135	▲533	
(参考) 増減率 (%)	▲23.8	▲102.2	▲9.5	▲35.4	

(差異の理由)

2023年1月4日に新設分割により「株式会社ADWAYS DEEE」を新設し、当社のアドプラットフォーム事業に関する権利義務を「株式会社ADWAYS DEEE」に承継させたこと、国内のエージェンシー事業において、人気アプリがリリースから長期間経過しユーザーにとって新鮮味が失われつつあることでゲームアプリを提供する一部の広告主（クライアント）からの広告需要が減少したこと等により2023年12月期の売上高は6,731百万円（23.8%減）となるとともに、新卒社員の入社やオフィス移転の影響等により販売費及び一般管理費が増加し、営業損失は27百万円（102.2%減）となりました。また、連結子会社からの配当金を受領したこと等により経常利益は1,298百万円（9.5%減）、2022年12月期に実施した投資有価証券の売却及び2023年12月期に計上した関係会社株式評価損等により親会社株主に帰属する当期純利益は973百万円（35.4%減）となりました。

2. 剰余金の配当について

	決定額	直近の配当予想 (2023年10月31日)	前期実績 (2022年12月期)
基準日	2023年12月31日	同左	2022年12月31日
1株当たり配当金	5円77銭	4円50銭	14円10銭
配当金総額	225百万円	—	558百万円
効力発生日	2024年3月27日	—	2023年3月24日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

当社グループは、中長期的な企業価値の向上に努め、株主に対する利益還元を行うことを経営の重要課題の一つとして認識しております。その基本方針として、財務体質の強化及び将来の事業展開に備えるための内部留保の充実を中心に据えながら、その業績並びに業績の見通しに応じた適切かつ安定した利益還元を実施してまいります。2021年12月期から2023期12月期までの3ヶ年につきましては、下記の通り当社事業年度（第1期を除く）を基準とした配当性向もしくは1株当たり配当金2円70銭を基準に毎期10銭を増配した1株当たり配当金のどちらか高い方を目途としております。

本方針に従いまして2023年12月期の普通配当は、親会社株主に帰属する当期純利益966百万円に配当性向23%を乗じた配当金総額が、1株当たり2円90銭の配当金総額よりも高いため、普通配当を5円77銭といたします。

<3ヶ年(2021年12月期～2023期12月期)の配当方針(普通配当)>

決算期	第22期 (2021年12月期)	第23期 (2022年12月期)	第24期 (当期：2023年12月期)
配当方針	配当性向21% もしくは 1株当たり2円70銭 の 高い方	配当性向22% もしくは 1株当たり2円80銭 の 高い方	配当性向23% もしくは 1株当たり2円90銭 の 高い方

(参考) 年間配当の内訳

1株当たり配当金(円)			
基準日	第2四半期末	期末	合計
当期実績 (2023年12月期)	0円00銭	5円77銭	5円77銭
前期実績 (2022年12月期)	0円00銭	14円10銭	14円10銭

(注) 配当金の内訳

当期：普通配当 5円77銭

前期：普通配当 14円10銭

以上